

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社（代表 高田 克彦）

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社（BePA）は、日本におけるバイオエコノミー社会の早期実現を目指して、木質系資源の新たな利用法の提案・拡大とそれに資する技術開発、産学プロジェクトの推進に取り組んでいます。

これらの事業の一環として、2024年からJST（科学技術振興機構）が推進する「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）本格型（代表機関：秋田県立大学）」に参画、秋田県内外の産官学金からの参画機関と協働して、粒径20-30 μ mの超微粉碎木粉を利用した新たな材料開発に取り組んでいます。共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）本格型（代表機関：秋田県立大学）の取組みは下記のURLで確認できます。

秋田COI-NEXT ソウゾウの森プロジェクト <https://akita-souzounomori.com>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

プラチナ森林産業イニシアティブのビジョン実現に向けて、参画企業の皆さまとの協働を通じて、我々が有する粒径20-30 μ mの超微粉碎木粉の製造技術（タンデムリングミル型粉碎機：写真1）と製品（超微粉碎木粉：写真2）の利活用を推進してまいります。今後よろしくお願いいたします。



写真1 タンデムリング型粉碎機



写真2 超微粉碎木粉